
言語研究センター共同研究

スペイン語の中間言語と第二言語の習得について

アルトゥーロ バロン ロペス

2010年の春、我々のグループは再度集まり、新入学生を対象にした、学習志望動機に関するアンケートを準備した。

アンケートは5月と10月に実施した。その結果は今後、分析する予定である。同時に文法の理解度に関するテストも行った。

アンケートとテストの結果により、研究対象の学生をレベル別の3つのグループにわけ、それぞれのグループの学習習得度、対象言語に対する動機と興味の変化の分析を行う。

これらの研究は入学時から卒業までの4年間を通して続けられる。

2011年度の研究目標は、まず2010年度の研究結果の分析をし、レベル別の3つのグループに対する新たな調査を実施することで習得度合いを測るつもりである。

